美浜発電所３号機における国際原子力機関（ＩＡＥＡ）の
ＳＡＬＴＯチームによるフォローアップ調査終了

２０２６年１１月１３日
関西電力株式会社

当社は、美浜発電所３号機の安全な長期運転に対する客観的な評価を受けるべく、２０２４年４月１６日から２５日までの間、国際原子力機関（ＩＡＥＡ）のＳＡＬＴＯチームによる調査（以下、本調査）を受けました。

その後、本調査に係る結果として、同年にＳＡＬＴＯチームから「長期運転に向けた安全評価に係る報告書」を受領し、良好事例の抽出や、さらなる改善・向上に向けた推奨事項等の提言をいただきました。

（２０２４年１０月２８日お知らせ済）

本調査でいただいた推奨事項等の対応状況にかかるフォローアップ調査について、２０２６年１１月１０日から実施され、本日調査が終了しました。

当社は、今回の調査で得られた知見を今後のプラント設計や設備保全に反映していくことで、原子力発電所の安全性・信頼性の向上に取り組んでまいります。

以　上

添付資料：ＳＡＬＴＯチームによるフォローアップ調査概要

＜添付資料＞

ＳＡＬＴＯチームによるフォローアップ調査概要

１．調査期間

２０２６年１１月１０日（火）～１３日（金）　４日間

２．調査対象

本調査でいただいた推奨事項※1・提案事項※2（６分野１１項目）

調査分野	推奨事項	提案事項	合計
組織全体の管理	1	2	3
経年劣化を管理するための共通ルールや活動	1	1	2
機械設備の経年劣化管理	2	0	2
電気・計装設備の経年劣化管理	1	0	1
土木構造物の経年劣化管理	1	0	1
人的資源・力量・知識管理	1	1	2
合　計	7	4	１１

※１：ＩＡＥＡの安全基準または実証された良好な国際事例に基づき、運転上の安全性を、どのように改善したらよいかについての助言。

※２：安全性向上に向け、既存の業務や仕組みに対する有益な提案事項を示すとともに、現行業務に対して考えられるより優れた選択肢の提案。

３．ＳＡＬＴＯチームメンバー構成

ＩＡＥＡの職員およびＩＡＥＡ加盟国の専門家　計４名（４ヶ国※3）

リーダー　　ＩＡＥＡ　原子力安全担当官　Martin Marchena マルティン・マルチェナ氏

副リーダー　ＩＡＥＡ　原子力安全担当官　Bryce Lehman ブライス・リーマン氏

※３：アメリカ、アルゼンチン、スウェーデン、チェコ

４．調査を終えたＳＡＬＴＯチームの講評内容

・美浜発電所において、２０２４年の本調査でＳＡＬＴＯチームが示した推奨および提案事項に取り組まれていることを確認した。

・これまでの取組みにより、経年劣化管理が改善されるなど、２０２４年の推奨・提案事項の多くが解決されている。

・また、未解決の推奨・提案事項についても、適切な期間内に対応できるものと考えており、継続して取り組む必要がある。

５．フォローアップ調査の確認結果※4

＜解決された推奨事項＞

（推奨事項）

・長期運転プログラムのさらなる発展・実施を推奨する。

（調査確認結果）

・長期運転に係る活動を体系的に計画し、責任分担を明確化した包括的な長期運転プログラムが策定・運用されていることから、推奨事項は解決したと評価いただいた。

（推奨事項）

・土木構造物の補修要否を判断する基準のより明確な具体化等の改善を推奨する。

（調査確認結果）

・土木構造物に係る補修要否の定量的な判断基準が策定・運用されていることから、推奨事項は解決したと評価いただいた。

（推奨事項）

・過酷な条件に対する機器の耐性を確認するためのプログラムの改善を推奨する。

（調査確認結果）

・電気設備、計測制御設備および動的機械設備に係る、設備の経年による、耐震や劣化等を考慮した適切な機器の管理方法（検証、取組計画等）が策定・運用されていることから、推奨事項は解決したと評価いただいた。

＜引き続き取組みが必要であると指摘された推奨・提案事項＞

（推奨事項）

・経年劣化傾向を把握するためのデータ分析・管理の改善を推奨する。

（調査確認結果）

・機械設備の点検データを蓄積・活用し、経年劣化の傾向を把握できるようにしたが、現時点でデータ蓄積が十分でないことから、継続的な取組みが必要と評価いただいた。

（提案事項）

・長期運転および経年劣化管理に関する指標等の充実を提案する。

（調査確認結果）

・ＩＡＥＡの報告書や海外の良好事例のベンチマーキング等を参考に、具体的な指標を定めたが、現時点で効果が明確になっていないことから、継続的な取組みが必要と評価いただいた。

（提案事項）

・国内外の知見のさらなる活用について提案する。

（調査確認結果）

・長期運転の情報を含む海外プラントの運転経験情報を発電所へ共有する運用に変更したが、得られた情報を確実に分析し、適切に活用するまでに至っていないことから、継続的な取組みが必要と評価いただいた。

※４：今回のＳＡＬＴＯチームからの講評では、推奨・提案事項の全１１項目の総評に加え、６項目の詳細評価が報告されたもの。

以　上